

破損した太陽光発電設備にご注意ください

近年、太陽光発電設備を設置する一般住宅や小規模事業所等が増加しています。設置者の皆様は、設備の異常を感じた場合や故障した場合には、速やかにブレーカーを遮断する。または工事業者やメーカーのアフターサービス窓口につながりなどの対応を確認しておきましょう。

災害等により、設備が破損や浸水した場合には、感電する恐れがありますので、みだりに人が触るのを防ぐための囲いを設け、さらには貼紙等で注意を促しましょう。

問合先

高山消防署警防課
☎32-0119

災害などで太陽光発電設備が破損した場合は、次のことに注意してください。

- 破損していても光があると発電しているため、触れると感電する恐れがあります。不用意に近づかないでください。
 - 大部分がガラスで構成されており、大変危険です。撤去作業をする場合は怪我の防止に努めてください。
 - 水濡れによりパネルに含まれている鉛などの有害物質が流出する危険性があるため、ブルーシートで覆うなどの水濡れ対策をしてください。
 - 対処にあたっては、販売・施工業者に連絡し、適切な処置を依頼してください。
- ※ご自分で廃棄される場合は、事前に資源リサイクルセンターにご相談ください。

問合先

資源リサイクルセンター
☎35-1244

銃砲刀剣類登録審査会を実施します

銃砲刀剣類の登録手続きについて、飛騨地区での審査会を実施します。

日時 9月14日(金) 午前10時～午後2時(正午～午後1時を除く)

場所 飛騨総合庁舎中会議室(上岡本町7)

内容 ・銃砲刀剣類の登録申請 家を整理して発見した場合、新規登録が必要です。最寄りの警察署へ届出をして、「発見届」を持参のうえ、本審査会へ持ち込んでください(手数料6,300円)

・登録証の再交付 登録証を紛失している場合、現物審査のうえ状況と一致する銃砲刀剣類の登録を調査します。確認できた場合、再交付します。

問合先 飛騨県事務所 ☎33-1111(内線234)

委員会・審議会を公開しています

公開予定の委員会・審議会

開催日	会議名ほか	担当課
9月3日 (月)	庁議(幹部会) 8:30～ 市役所 4階特別会議室	企画課 ☎35-3131
	選挙管理委員会 9:00～ 市役所 4階中会議室	選挙管理委員会事務局 ☎35-3133

●傍聴は先着順となります。

●開催日時や場所が変更となる場合があります。また、議題など詳細についても担当課へお問い合わせください。

飛騨山脈ジオパーク構想 ジオサイト(第9章)

穂高連峰と同じえび坂の石垣

乗鞍岳や白山には登ったが、穂高連峰には登っていないという人が多いと思います。西穂高岳独標から先はルートが切り立った岩稜となっているため、初心者は足がすくんでしまい、なかなか行けないそうです。この理由は二つあり、一つは穂高連峰の大地が氷河期を経て氷河や水に侵食され、しまったからです。乗鞍岳や白山は、氷河期が終わった後に溶岩が流れたためなどらかな斜面が残り、比較的登りやすいのです。



もう一つは、穂高連峰を形成する岩石が石材に使われるくらい硬い岩石だからです。その岩石は176万年前ごろ、穂高連峰一帯の地下からマグマが大噴出してできました。大噴出は地下のマグマだまりに上部の大地が落ち込んだためだと考えられています。大地が落ち込んだ巨大なくぼみをカルデラといいます。そこに大噴出したマグマが火砕流となり堆積し、溶結凝灰岩という硬い岩石になりました。これらの岩石は、穂高山岩類といえます。カルデラだったところは侵食を受けつつどんどん隆起し、3,000mを超える山容になりました。また、穂高連峰のカルデラからあふれた火砕流は高山市東部に流れ下り、丹生川町の高台を造り、上野平では厚さ3メートルほど堆積しました。この火砕流は丹生川火砕流とよばれます。この火砕流の堆積物は石材として採掘され、神社の石灯籠に加工されたり、高山市のえび坂の石垣上部の角ばった石材として利用されています。

(飛騨地学研究会 鷲見 浩)

問合先

飛騨山脈ジオパーク推進協議会
☎0576-81-0036